

平成17～21年度小野市次世代育成行動計画の報告（特徴的な取組み）

基本目標1

すべての子どもが心豊かに成長、発達できるまちづくり ～子どもの視点～	
子どもの人権が守られている	H19 市の機構改革によるヒューマンライフグループ誕生 青少年センターに改称
子どもが心豊かに育つ教育 (保育)を受けられる	H18 川島理論（最先端脳科学）による教育
	H19 2歳児教室開催
豊かな体験のできる環境がある	H18 全中学校コンピューター教室のパソコン一斉更新
	H18 大学との連携による、大学生の学校への派遣
	H18 全小学校にALT（外国語指導助手）の配置
	H19 屋外屋根つきドーム完成
	H20 粟生陶芸館完成

基本目標2

だれもが安心して子どもを生み育てられるまちづくり ～親の視点～	
出産や育児について気軽に 相談でき、知識や情報が得られる	H17 育児支援家庭訪問事業開始
	H17 発達相談事業開始
	H18 小野市民病院 産婦人科診療閉鎖
	H19 こんにちは赤ちゃん訪問開始
	H20 育児支援家庭訪問 ホームヘルプサービス
	H21 養育支援家庭訪問事業 ホームヘルプサービス
	H20 マタニティマーク配付
子どもの事故や病気に対して 予防や対応がきちんとできる	H21 つどいの広場開催
	・予防接種、乳幼児健康診査の案内 H17 小野市民病院 小児科中核病院 医師7人体制 H18 小野市民病院 小児科 院内学級
子どもを安心して預けられる 場があり、子育てと仕事の 両立ができる	・保育ニーズへの対応 延長保育、休日保育
	H18 ファミリーサポートセンター 利用料750円を600円に更に半額補助
	H21 ファミリーサポートセンター 利用料半額補助の廃止
	H18 地域型アフタースクール補助 神鉄ビル2Fおのっこクラブ H20 放課後こども教室
子育て家庭への経済的支援 が充実している	H17 乳幼児医療費 小学就学前まで
	H18 民間での学童保育事業への運営補助（再掲）
	H18 妊婦後期健康診査費助成（所得制限撤廃）費用の一回分に対し 上限15,000円
	H20 妊婦健康診査費助成 全期間内5回まで、上限35,000円
	H21 妊婦健康診査費助成 全期間内14回のうち、上限75,000円
	H18 乳幼児医療費 小学3年生まで無料
	H19 乳幼児医療費 小学6年生まで無料
	H21 乳幼児医療費 中学3年生まで無料
	H19 小児慢性特定疾患治療にかかる自己負担額の助成 H19 児童手当拡大 第3子以降と0～3歳未満児は10,000円、小学6年生まで
障害児のいる家庭やひとり 親家庭への支援が充実して いる	H18 障害者地域生活相談支援センター設置
	H19 発達障害児療育支援事業
	H19 障害児タイムケア事業開始（日中一時支援）

基本目標3

地域社会が一体となって、子どもと子育て家庭を支援するまちづくり
～地域の視点～

子どもや子育て家庭が安心して気軽に集える場がある	H19 自治会のひろば整備事業助成
子どもや子育て家庭に配慮した生活環境が整備されている	H17 安全・安心パトロール車 2台を3台へ
	H20 安全・安心パトロール車 5台10人体制へ
	H21 安全・安心パトロール車 7台に、15名体制へ
	H18 全小学校・特別支援学校・幼稚園に警備員を常時配置
	H18 小学生以下コミュニティバス運賃無料
	H20 コミュニティバスをデマンドバスに活用
	H19 町境の通学路に防犯灯を公共設置
地域の子育て支援体制が確立されている	H20 学校施設の耐震化事業
	H17 要保護児童対策地域協議会設置